

広報

いちき串木野

食のまちづくり、仕込み中。
～ 15 年目を迎えた食のまちづくりは次のステージへ～

R8. 10. 20 発行

10

vol. 252

おいしく、
ひといき。

食べる、楽しむ、人いきいき。



LINE

いちき串木野市公式 LINE

イベント情報など配信中！ぜひご登録ください



食のまちづくり、仕込み中。

～15年目を迎えた食のまちづくりは次のステージへ～

本市には、海の幸や山の恵み、豊かな食文化など、地域ならではの「食」があります。そんな食の魅力をまちづくりに生かそうと、平成22年(2010年)10月に「食のまちづくり宣言」を行い、翌年から「食のまちづくり基本計画」をスタートさせました。

それから15年。「食」をきっかけに、人と人、地域と地域をつなぐ取り組みが、少しずつ広がっています。これまでの歩みを振り返りながら、これからの「食のまち」をみんなで考える、そんな節目を迎えています。

▼おいしく、ひといき。
特設サイト



plan



第2期の集大成から、第3期の食のまちづくりへ

食のまちづくり基本計画の現状と今後の目標

食のまちづくり基本計画とは？

本市では、豊かな食文化を生かし、食を通じて人や地域がつながるまちを目指して、「食のまちづくり基本計画」を策定しています。

これは、地域の資源や特性を生かし、食の魅力を高めることで、地域のにぎわいや産業の活性化、健康づくりにつなげるための計画です。



食のまちを育てる3つのポイント

食文化を守り、育み、活かす

地域の食材や伝統、食にかかわる人や技を未来へつないでいきます。



人がいきいきと輝く

食を通じた学びや体験、交流で、心と体が豊かになるまちを育てます。



まちの活力を高める

食の魅力を地域のにぎわいや経済の活力につなげていきます。



これまでの歩みとこれから

令和4年度に第2期基本計画を策定し、今年は第2期の最終年度です！

これまでの取り組みを振り返りながら、今後の方向性を考える大切な時期を迎えています。

現在は第2期基本計画を推進しつつ、「食のまちPRパートナー」の皆さんの声を大切な材料に、これからの取り組みや方向性を考えています。

食のまちPRパートナーとは？

本市の「食」や「食によるまちづくり」に関心がある方で、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進してくれている仲間の皆さんです。事業者や団体、高校生、一般の方など幅広い方に参加いただいております、随時募集しています！



meets



それぞれの強みを活かして、みんなで食のまちづくりを実践 食のまちパートナーシップ会議を開催



市職員と食のまちPRパートナー、そして食のまちづくりの支援を依頼している(株)さとゆめとの協働による、「食のまちパートナーシップ会議」を年5回計画しています。

パートナーシップ会議では、それぞれの困りごとや知りたいことを持ち寄り、人や事業者とのつながりを通じて、次の一步につなげていくことを目標としています。

PRパートナー同士のつながりから
新しいアクション生まれています！



◀ 学校給食×地元生産者
子どもたちの食を支える
仕組みができました！

学校×菓子店 ▶
地元食材を
使ったスイーツが
生まれました！



9月の会議では、本市と連携・協力に関する協定を結ぶ、清泉女子大学の学生も参加。

学生からは、「祖母と近い年齢の方が、まちのためにと動いていらっしゃる姿に刺激を受けました」「会議でまとまった話を実現させるとなると難しさもあると思いますが、やりがいがあって楽しそうだと思いました」といった声がありました。

news



食のまちPRパートナーが全国で活躍！

神村学園高等部調理科が和菓子甲子園で優勝

8月に開催された「第17回全国和菓子甲子園」において、神村学園高等部調理科3年の東條光佑さんと栗林愛依さんが、初優勝を果たしました。

全国から38校110作品が参加した本コンクール。「スポーツ×和菓子」をテーマに、味や技術、発想力などを競いました。

優勝を飾った2人の作品「王柑(おうかん)」は、蒸し菓子和菓子と柚子のジュレを黄身餡で包み、ローリエのジュレを冠のように重ねた風味さわやかな逸品です。

二人は「いろんな方々に支えていただいたので、恩返しができたと思います。先生方からのアドバイスやこれまで学んだことを活かすことができ、自信が付きました」と喜びを語りました。



(中央2人左から)東條光佑さん・栗林愛依さん





第4回いちき串木野市 Instagram

カレンダーフォトコンテスト結果発表

テーマ「みんなの物語～共有したい、いちき串木野」



本フォトコンテストの採用作品で構成されたカレンダーを、市総合観光案内所や薩摩藩英国留学生記念館にて 300 円で発売しています。

▼これまでのカレンダー採用作品はこちら



グランプリ

撮 影 者：田島祐子

撮影場所：串木野西中学校

『最後の授業』

●撮影者のコメント

チャイムの音が鳴り響いた後に打ちあがった花火『串木野西中学校』最後の時をカメラに残せました。この学校で過ごした日々、全てが宝物です。ありがとう。

●審査員評（アートディレクター 富永 功太郎 氏）

2026 年 3 月、54 年の歴史に幕を閉じた「串木野西中学校」の最後を彩る色鮮やかな花火。まるで学び舎が別れを告げているかのように、心に深く刻まれたかけがえのない思い出が、走馬灯のように蘇る。切なくも美しい一瞬を捉えた、グランプリに相応しい一枚です。

入選(12 作品)

撮影者、撮影場所、タイトル



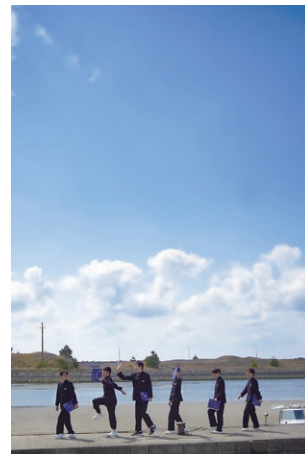
平 輝海 大里田んぼ

朝もやの圃場



ハマヒロ 荒川長城牧場

最高の景色 思い出の足跡



ちらん 市来港

卒業おめでとう



松若 隆幸 串木野新港

輝く希望



Shintaro Nakazono 照島海岸

Azure



浜田 誉 冠岳花川砂防公園

水面舞うホタルたち



Marimo なぎさ公園

また明日、ここで



☆星のおじさま 長崎鼻灯台

天と地を繋ぐ、光の糸



takaswei194 大里田んぼ

別当実盛の見守る秋の実り



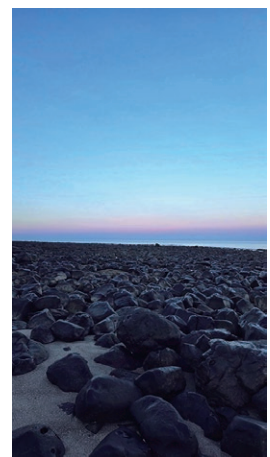
兒玉慎吾 (@sh1ng0_12) 冠嶽園

庭を見守る翅



takaswei194 冠岳花川砂防公園

錦秋の花川砂防公園



しろたん 崎野海岸

海からの幸せな贈り物

9/23

大里虫追踊開催



市指定無形民俗文化財である「虫追踊」が大里地区を中心に 10 ヶ所で披露されました。

虫追踊は五穀豊穡を祈る踊りで、リズムカルな鉦の音や飛び跳ねる太鼓が特徴の郷土芸能です。

当日は、「高校生郷土芸能サポーター」7 名も踊りに参加し、地域の皆さんと一緒に伝統の踊りを盛り上げました。

秋晴れの下、色鮮やかな衣装をまとった踊り子たちは黄金色の稲穂を背景に、とてもきれいに舞っていました。

10/4

七夕踊（太鼓踊）開催



島津義弘公の朝鮮の役での活躍を記念して踊る「七夕踊」が奉納されました。

今年も「七夕踊伝承会」が、中福良にある「堀ノ内庭」と弘山の「弘山踊り場」で太鼓踊を勇壮に披露しました。また、今回は作り物の虎（小虎）や鹿（小鹿）、鶴（小鶴）も展示されました。

伝承会では、これからも踊りを受け継いでいけるよう、開催時期の見直しや、小学校への出前授業など、担い手づくりにも取り組んでいます。

9/6

湊・湊町の両地区で避難訓練を実施



湊町ふれあい協議会と湊地区まちづくり協議会による避難訓練が開催され、約 400 名の地域住民が参加しました。

両地区では毎年、9 月 1 日の防災の日が一番近い日曜日を避難訓練の日とし、約 40 年以上前から取り組んでいます。

当日は公民館ごとに決められた避難場所へのルート確認や、心肺蘇生の手順などを学び、いざという時に備える重要性を再確認しました。

8/1

市 PTA 連絡協議会スポーツ大会



市 PTA 連絡協議会主催のスポーツ大会が、アクアホールで開催され、46 名の参加者が 10 チームに分かれて、競技を楽しみました。

昨年に引き続き、公式ワナゲ、スカットボール、ディスクゲッター、ラダーゲッターといったニュースポーツを実施。今年は、誰でも安全に楽しめるアーチェリーも新たに加わりました。

初めて参加した、串木野小学校 3 年の中村心晴さんは、「運動が苦手な私でも、楽しく参加できました。来年も参加したいです」と笑顔で話していました。結果は次の通りです。

●大会成績

- 優勝 市来中チーム
- 準優勝 市来小チーム
- 第 3 位 串木野特別支援・羽島小チーム
串木野小 B チーム

9/12

「防災月間」 電気設備点検・清掃活動



川薩電気工事工業協同組合青年部と協力会社の約30名が、避難所指定公共施設の電気設備点検と清掃活動を行いました。

この活動は、平常時や災害時における安全性、利便性の向上を図るとともに、市民が安心して利用できる施設環境の維持に寄与するためボランティアで行われました。暑い中、ありがとうございました。

9/29

～かごしまフォトドライブプロジェクト～ 「浜競馬」がフォトドラアワードに認定！



かごしまフォトドライブプロジェクト実行委員会（鹿児島県オールトヨタ）が主催する「写真を撮るために、わざわざ出かけたい、とっておきの鹿児島」のスポットとして、本市の「浜競馬」が認定されました。

本事業は、県内の豊富な観光資源を発掘・発信することで世界中に鹿児島の魅力を伝えていくことを目指したプロジェクトです。

本市は今回で8回目の受賞となります。これまでの受賞内容については、右の二次元コードからご覧ください。



青の煌めきあおもり障スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第25回全国障害者スポーツ大会



10月23日から26日に、青森県で第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」が開催されます。

全国障害者スポーツ大会は、毎年、国民スポーツ大会を開催した都道府県で行われ、全国から約5,500名の選手が参加します。

障害のある選手が競技等を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある方の社会参加に推進に寄与することを目的とした大会です。



鹿児島県選手団として本市の選手が出場します！
皆さまの応援をよろしくお願いします。

林 美希さん（水泳競技）

25m平泳ぎ・50m自由形に出場予定

10月23日(金)～25日(日) @マエダアリーナ（新青森県総合運動公園）



大会の詳しい情報は、公式サイト（左の二次元コード）からご確認ください。